

令和4年度 学校評価アンケート結果

教職員

回答数 36

否定群

肯定群

※裏面に続く

1: 十分そう思う 2: 概ねそう思う 3: そう思わない 4: 全くそう思わない (1+2=「肯定群」, 3+4=「否定群」) 円グラフは全学年

		1	2	3	4	今年度	昨年度
a 学習指導	①本校の教育活動は、スクール・ミッション(本校の存在意義や期待されている社会的役割)を反映した内容と思いますか。	29人(80.6%)	7人(19.4%)	0人(0%)	0人(0%)		今年度の設定項目のため前回のデータはありません
	②一人一人の学習状況に配慮し、わかる授業を心がけた創意工夫ある授業改善に努めている	30人(83.3%)	5人(13.9%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
	③視聴覚教材やプリントを活用するなど、生徒の興味・関心を引き出し、学習意欲を高め、家庭学習の定着を図る取組が継続できている	31人(86.1%)	4人(11.1%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
	④生徒の主体的学び、対話的学び、深い学びを鑑みた指導計画を立案し、併せて多様な評価方法の改善につとめている	25人(69.4%)	5人(13.9%)	6人(16.7%)	0人(0%)		
	⑤授業規律に努め、指導と評価の一体化の上に立ち、集中力の育成と学習内容への確かな理解が図られている	30人(83.3%)	5人(13.9%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
b 生徒指導	⑥観察や声かけ、個別面談や教育相談等を通して生徒理解を深め、悩みや不安の解消に迅速に対応することができている	26人(72.2%)	8人(22.2%)	2人(5.6%)	0人(0%)		
	⑦日頃から、生徒の規範意識(挨拶の習慣化、身だしなみ等)を高め、問題行動の未然防止に努めている	26人(72.2%)	8人(22.2%)	2人(5.6%)	0人(0%)		
	⑧いじめの未然防止や不登校要因の解消など、情報を共有する中で迅速に対応できる組織体制ができている	21人(58.3%)	8人(22.2%)	7人(19.4%)	0人(0%)		
	⑨生徒の現状や指導目的・指導方針に関する連絡や説明について、随時家庭に情報発信できている	28人(77.8%)	6人(16.7%)	2人(5.6%)	0人(0%)		
c 進路指導	⑩進学講座や模擬試験、各種検定等の実施や進路面談等による、生徒の進路意識や学力の向上に係る情報を共有することができている	26人(72.2%)	10人(27.8%)	0人(0%)	0人(0%)		
	⑪キャリア教育の推進に向けた教育活動の模索及び高大接続に係る新テスト導入について組織的検討の準備がなされている	22人(61.1%)	8人(22.2%)	6人(16.7%)	0人(0%)		
	⑫進路指導の取り組み内容や各種模擬試験、検定等の案内、喫緊の進路情報などについて、生徒・保護者との情報共有ができている	26人(72.2%)	9人(25%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
	⑬保護者向けの進路説明会や三者面談等を計画的に行うことで、保護者との連携を十分に図ることができている	19人(52.8%)	17人(47.2%)	0人(0%)	0人(0%)		
d 健康安全	⑭HPやたより等を活用し、心身の健康増進や安全意識の向上に関する情報提供に努め、生徒の自己管理意識の啓発につなげられている	25人(69.4%)	10人(27.8%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
	⑮多様な生徒に対応する、機に応じた教育相談体制が確立され、組織的に迅速かつ適切な対応ができている	26人(72.2%)	6人(16.7%)	4人(11.1%)	0人(0%)		
	⑯環境教育が計画的に行われ、環境美化意識の啓発を図る取組が生徒の主体的行動となって現れている	24人(66.7%)	5人(13.9%)	6人(16.7%)	1人(2.8%)		
	⑰AEDやエビペンの取り扱いをはじめ、多様なアレルギー疾患、てんかん発症時の緊急対応について、正しい認識を身につけている	20人(55.6%)	6人(16.7%)	10人(27.8%)	0人(0%)		

e 信頼される学校づくり	⑮HPや広報等を活用し、日常の教育活動の積極的な情報発信に努めている	27人(75%)	4人(11.1%)	5人(13.9%)	0人(0%)		
	⑯PTA活動(PTA研修会、保護者懇談会、PTAだより等)の目的や意義が会員に浸透し、十分な協力が得られている	27人(75%)	6人(16.7%)	3人(8.3%)	0人(0%)		
	⑰保護者の相談や電話連絡等に対して、誠意ある態度で適切な対応ができています	28人(77.8%)	8人(22.2%)	0人(0%)	0人(0%)		
	⑱生徒や教職員が積極的に地域(地域行事への参加、学校開放講座の開設等)と関わるように努めている	21人(58.3%)	4人(11.1%)	10人(27.8%)	1人(2.8%)		
	㉒学校内外の教育環境が整備され、生徒が安心して学校生活を送れる環境となっている	23人(63.9%)	5人(13.9%)	8人(22.2%)	0人(0%)		
f 組織運営	㉓分掌や学年(年次)が連携し情報の共有を図ることで、協働的かつ組織的に活動を展開させている	27人(75%)	3人(8.3%)	6人(16.7%)	0人(0%)		
	㉔教職員間での日常的な報告・連絡・相談等がなされ、円滑で迅速な対応が可能になっている	26人(72.2%)	5人(13.9%)	5人(13.9%)	0人(0%)		
	㉕危機管理マニュアルや申し合わせ等の認識が共有できており、個々の役割や責任が明確に機能している	22人(61.1%)	3人(8.3%)	11人(30.6%)	0人(0%)		
g 教職員の質の向上	㉖校外研修の還元、授業公開や校内研修等の成果が、個々の教科指導力や生徒指導力等に反映されている	25人(69.4%)	6人(16.7%)	5人(13.9%)	0人(0%)		
	㉗日頃から法令遵守や服務規律の保持を相互に意識し合う職場が形成されている	25人(69.4%)	10人(27.8%)	1人(2.8%)	0人(0%)		
	㉘学校課題に対して、経営参画意識を持ち、改善に自ら積極的に関わろうとする意識が形成されつつある	27人(75%)	4人(11.1%)	5人(13.9%)	0人(0%)		